

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 R7年3月11日

合同会社 個どもの家

利用数 8件

回収数 8件 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言等が具体的で理解しやすいです。</li> <li>・いつも助言が分かりやすいです。</li> </ul>	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識豊富でいつも参考になります。</li> </ul>	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対しその場で答えて下さり適切で分かりやすいです。</li> <li>・丁寧に対応して下さいます。</li> </ul>	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応の仕方でお悩んでいる事を相談すると助言して下さいるので悩みが軽減します。</li> <li>・保育園では1対1ではない為、子どもの困り感を解消するのは難しいです。</li> <li>・個々の成長は様々なので個人差があります。</li> </ul>	下記に記載しています。
	<p>[4に対するご意見を踏まえた対応]</p> <p>・保育と療育では職員数が違うので、集団をまとめながら、一人ひとりじっくり接するのは難しいことだと思います。療育とは「丁寧な保育」と言われているように、ゆっくりじっくり子どもの気持ちに寄り添いながら社会に出ていくためのSS(ソーシャルスキル)を学ぶ場所であったり、並行通園先(保育園)での子どもの困り感をどんな支援方法なら軽減出来るかを考える場所でもあります。例えば、癇癪が起きたとき、気持ちの切り替えが難しいときなど、くれよんで支援方法を考え実践、結果を報告、保育園で実践する、といった段階を踏んでいくことが大切です。小集団(くれよん)で練習し、大集団(並行通園先)でも出来るようになることが私たちの目標ですので、先生方とくれよんが共通認識を持って子どもたちに接していくことが大切だと思います。またその子が来所している日に見学に来ていただくと支援方法をご覧いただけだと思います。本当に個々の成長は様々です。支援方法は一人ひとり違うので、私たちも試行錯誤しながら支援しています。その都度情報交換をしていきたいと思っています。</p>					

5	事業所からの支援に満足していますか。	8		・担当者会議を定期的に行ってほしいです。	
---	--------------------	---	--	----------------------	--

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>・施設見学に行かせていただき、様子を見る事が出来たり、支援の仕方を見たりしてとても勉強になりました。</p> <p>・くれよんの先生方と保育所等訪問支援などで顔を合わせる機会が多く、情報の共有や交換、アドバイスもその都度いただけるのでありがたいです。</p> <p>・適切な助言をいただけるので感謝しています。</p> <p>・事業所で子どもの姿や保育園での姿をお互いに情報交換できとても有意義な時間になっています。前回見学に行かせていただいたときにとっても勉強になったので、また機会があれば、見学に行きたいです。</p> <p>・担当者会議が定期的に行われると療育施設、保育園、ご家庭、それぞれの様子が聞けたりもっと連携が取れるのではないかと思います。</p> <p>・訪問時や送迎時など詳しく話を聞かせていただいたり、相談にもものっていただき、職員一同沢山学ばせていただいています。</p> <p>・送迎のことについて相談したところ、すぐに対応してくださりありがたかったです。</p> <p>・園庭を走り回り入室が出来なかった子どもを入室できるまで一緒に対応してくださったり、くれよんでの様子を細かく教えて下さりました。</p> <p>・専門の方の訪問は先生方にとって不安解消にもつながりありがたいです。今後ともご指導よろしくをお願いします。</p> <p>(Q1)保育園、事業所、保護者との話し合いの場を増やしてほしいです。</p> <p>(Q2)保育所等訪問での支援内容、子どもの成長等を教えてほしいです。</p> <p>(Q3)いろいろな時間を見ていただきたいです。</p>	<p>たくさんのご意見ありがとうございます。各園の先生方が療育の見学に来て下さり、先生方と色々な情報の共有ができたことを嬉しく思います。私たち自身も先生方の関わり方を見て勉強させてもらい、くれよんで実践出来ていることも沢山あります。次年度もよろしくをお願いします。</p> <p>(Q1→A)</p> <p>・基本的には相談員さんがモニタリングとして話し合いの場を作ってくださいます。事業所開始三か月間は毎月、その後は半年後、1年後・・・とモニタリングの時期が決められていますが、保育園さんから困り感を発信し、モニタリングの機会を作ることも可能です。そのときは、保育所等訪問時に相談してください。相談員さんへお伝えします。</p> <p>(Q2→A)</p> <p>・支援内容は個々に合わせた支援を行っています。支援には直接支援と間接支援があります。直接支援の場合にはその場で支援しますが、間接支援は様子を踏まえた上でくれよんに持ち帰り検討し支援する場合があります。「こういうお子さんには・・・？」など事例を上げてくださるといくつか支援内容をお伝えできるかと思います。</p> <p>(Q3→A)</p> <p>・基本的には、10時～の主活動、11時半～の給食時間の訪問ですが、ご希望の時間帯があれば変更できるのでご相談ください。</p>